



平成26年 5月19日

各 位

会 社 名 デリカフーズ株式会社
代表者名 代表取締役社長 小笠原 真清
(コード番号 3392 東証第二部)
問合せ先 経理財務統括室長 中島 実哉
(TEL. 03-3858-1037)

(訂正・数値データ訂正)「平成26年3月期 決算短信〔日本基準〕(連結)」の一部訂正に関するお知らせ

平成26年5月9日に公表いたしました「平成26年3月期 決算短信〔日本基準〕(連結)」において、記載内容に一部訂正すべき事項がありましたので、下記の通りお知らせいたします。また、数値データにも訂正がありましたので、訂正後の数値データも送信いたします。

なお、訂正箇所には下線を付しております。

記

1. 訂正箇所

サマリー情報 1 ページ

1. 平成26年3月期の連結業績(平成25年4月1日～平成26年3月31日)
 - (1) 連結経営成績

添付資料 3 ページ

1. 経営成績・財政状態に関する分析
 - (1) 経営成績に関する分析

添付資料 5 ページ

1. 経営成績・財政状態に関する分析
 - (2) 財政状態に関する分析
 - ②キャッシュ・フローの状況

添付資料 6 ページ

1. 経営成績・財政状態に関する分析
 - (4) 事業等のリスク

添付資料 17 ページ

4. 連結財務諸表
 - (3) 連結株主資本等変動計算書

2. 訂正内容

サマリー情報 1 ページ

1. 平成26年3月期の連結業績（平成25年4月1日～平成26年3月31日）

(1) 連結経営成績

【訂正前】

(1) 連結経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年3月期	26,619	9.9	502	△25.8	503	△24.1	276	△32.9
25年3月期	24,224	4.5	676	9.8	663	12.5	441	74.7

(注) 包括利益 26年3月期 287百万円 (△34.5%) 25年3月期 438百万円 (80.9%)

【訂正後】

(1) 連結経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年3月期	26,619	9.9	502	△25.8	503	△24.1	276	△32.9
25年3月期	24,224	4.5	676	9.8	663	12.5	411	74.7

(注) 包括利益 26年3月期 287百万円 (△34.5%) 25年3月期 438百万円 (80.9%)

添付資料 3 ページ

1. 経営成績・財政状態に関する分析

(1) 経営成績に関する分析

【訂正前】

③ 関西地区

当セグメントの売上高は、事業給食関連の取引が順調に推移し、また大手外食チェーンの新メニューが好調であったことによる取引増加等により、5,698百万円と前期と比べ418百万円(7.9%)の増収となりました。セグメント利益(経常利益)は、天候不順による調達価格の高騰、人員の増加による人件費増加等の影響により、157百万円と前期と比べ57百万円(26.7%)の減益となりました。

【訂正後】

③ 近畿地区

当セグメントの売上高は、事業給食関連の取引が順調に推移し、また大手外食チェーンの新メニューが好調であったことによる取引増加等により、5,698百万円と前期と比べ418百万円(7.9%)の増収となりました。セグメント利益(経常利益)は、天候不順による調達価格の高騰、人員の増加による人件費増加等の影響により、157百万円と前期と比べ57百万円(26.7%)の減益となりました。

添付資料 5 ページ

1. 経営成績・財政状態に関する分析

(2) 財政状態に関する分析

② キャッシュ・フローの状況

【訂正前】

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動によるキャッシュ・フローは、定期預金の払戻による収入159百万円が主要な収入であります。また、有形固定資産の取得による支出1,224百万円、定期預金の預入による支出135百万円が主要な支出であります。以上の結果、1,255百万円の支出（前年同期は1,146百万円の支出）となりました。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動によるキャッシュ・フローは、長期借入れによる収入2,290百万円が主要な収入であります。また、長期借入金の返済による支出626百万円、短期借入金の減少による支出160百万円、配当金の支払額82百万円が主要な支出であります。以上の結果、1,387百万円の収入（前年同期は559百万円の収入）となりました。

【訂正後】

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動によるキャッシュ・フローは、定期預金の払戻による収入159百万円が主要な収入であります。また、有形固定資産の取得による支出1,224百万円、定期預金の預入による支出135百万円が主要な支出であります。以上の結果、1,255百万円の支出（前年同期は1,146百万円の支出）となりました。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動によるキャッシュ・フローは、長期借入れによる収入2,290百万円が主要な収入であります。また、長期借入金の返済による支出626百万円、短期借入金の減少による支出160百万円、配当金の支払額82百万円が主要な支出であります。以上の結果、1,387百万円の収入（前年同期は559百万円の収入）となりました。

添付資料 6 ページ

1. 経営成績・財政状態に関する分析
- (4) 事業等のリスク

【訂正前】

以下において、当社グループの事業及びその他に関するリスク要因となる可能性があると考えられる主な事項を記載しております。また、必ずしもそのようなリスク要因に該当しない事項についても、投資者の投資判断上、重要であると考えられる事項については、投資者に対する積極的な情報開示の観点から以下に開示しております。なお、当社グループは、これらのリスク発生の可能性を認識した上で、発生の回避及び発生した場合の対応に努めてまいります。本株式に対する投資判断は、本項及び本書中の本項目以外の記載内容も併せて、慎重に検討した上で行われる必要があります。また、本項に記載した予想、見通し、方針等、将来に関する事項は、本有価証券報告書提出日現在において判断したものであり、将来実現する実際の結果とは異なる可能性がありますのでご留意ください。

【訂正後】

以下において、当社グループの事業及びその他に関するリスク要因となる可能性があると考えられる主な事項を記載しております。また、必ずしもそのようなリスク要因に該当しない事項についても、投資者の投資判断上、重要であると考えられる事項については、投資者に対する積極的な情報開示の観点から以下に開示しております。なお、当社グループは、これらのリスク発生の可能性を認識した上で、発生の回避及び発生した場合の対応に努めてまいります。本株式に対する投資判断は、本項及び本書中の本項目以外の記載内容も併せて、慎重に検討した上で行われる必要があります。また、本項に記載した予想、

見通し、方針等、将来に関する事項は、本決算短信提出日現在において判断したものであり、将来実現する実際の結果とは異なる可能性がありますのでご注意ください。

添付資料17ページ

4. 連結財務諸表

(3) 連結株主資本等変動計算書

【訂正前】

当連結会計年度(自 平成25年4月1日 至 平成26年3月31日)

(単位：千円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	759,755	1,572,315	2,404,633	△137,471	4,599,234
当期変動額					
剰余金の配当			△83,152		△83,152
当期純利益			276,007		276,007
自己株式の取得					—
自己株式の処分		△19,997		39,264	19,267
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)					
当期変動額合計		△19,997	192,854	39,264	212,122
当期末残高	759,755	<u>1,522,318</u>	2,597,488	△98,206	4,811,356

【訂正後】

当連結会計年度(自 平成25年4月1日 至 平成26年3月31日)

(単位：千円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	759,755	1,572,315	2,404,633	△137,471	4,599,234
当期変動額					
剰余金の配当			△83,152		△83,152
当期純利益			276,007		276,007
自己株式の取得					—
自己株式の処分		△19,997		39,264	19,267
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)					
当期変動額合計		△19,997	192,854	39,264	212,122
当期末残高	759,755	<u>1,552,318</u>	2,597,488	△98,206	4,811,356

以上